



第 80 号

令和 4 年 3 月 15 日

スポーツ少年秋田

AKITA JUNIOR SPORTSCLUBS ASSOCIATION

発行/秋田県スポーツ少年団 秋田市八橋運動公園1-5 秋田県スポーツ科学センター2F ☎018-866-3916

第1回秋田県スポーツ少年団ミニバスケットボール交流大会

- 期 日 11月27日(土)~11月28日(日) 女子の部
12月4日(土)~12月5日(日) 男子の部
- 会 場 秋田県立田沢湖スポーツセンター
- 参加団 女子12団196名 男子12団194名

秋田県スポーツ少年団では今年度、これまでの「秋田県ミニバスケットボール交歓大会」の参加資格が変更になったことを受け、スポ少登録をしているミニバス団に活躍の場を与えようと、県スポ少本部役員と田沢湖スポーツセンター職員らで実行委員会を組織し、新たに「秋田県スポーツ少年団ミニバスケットボール交流大会」を立ち上げました。

第1回大会は、11月最終週に女子大会、12月第1週に男子大会が田沢湖スポーツセンターで開催され、出場した県内の男女24チームは熱戦を繰り広げました。

本団では、今回の転機を「スポ少変革のチャンス」と捉え、大会の趣旨を「チャンピオンを競う」ことではなく、あくまでも「スポーツの楽しさ」を味わったり、「団員等の交流」を行ったりすること、言い換えれば「スポ少の原点」に立ち返ることとしました。

各チームの選手たちは、その趣旨に則った本大会独自のルール、「大会期間中のベンチ登録メンバー全員出場」や「3ポイントルール」などを存分に楽しんだようでした。

男子の部で最優秀チームとなった大曲ミニバスケットボールスポーツ少年団(大仙市)の佐々木心優(しゅう)主将(6年)は、「最後の大会をチーム全員の力で勝つことができた。3ポイントルールは、相手の流れを断ち切ることができてよかった。中学・高校でもバスケットを続けたい。」と力を込めました。

会場では、実行委員会委員や出場チームの保護者らがアルコール消毒作業を実施し、来場者には応援の人数制限やマスク着用、声を出さない声援を求めたほか、各チームの控室を分散させるなどして、万全の感染症対策を行いました。

なお、大会開催に当たっては、地元企業・ホテル等

から御協賛をいただいたほか、生保内イーストウィングススポーツ少年団保護者会からも「手づくり大会」の運営に多大な御協力をいただきました。

このことについては本紙面を借りて、厚くお礼を申し上げます。

また、この大会は2月最終週と3月第1週に田沢湖スポーツセンターで開催される「令和3年度東北ブロックスポーツ少年団ミニバスケットボール交流大会」の予選大会を兼ねており、男子は大曲ミニバスケットボールスポーツ少年団、淳南レジェンドスポーツ少年団(能代市)、女子は八橋女子ミニバスケットボールスポーツ少年団(秋田市)、御所野女子ミニバスケットボールスポーツ少年団(同)がそれぞれ推薦されることになりました。

しかし、1月以降東北各県で子どもたちが新型コロナに多数感染し、2月に入っても各県の新規感染者が高水準で推移していることから、東北交流大会は中止となりました。

東北交流大会では、ラート競技世界選手権3連覇の高橋靖彦氏(秋田ノーザンハピネッツ所属)を招いて、参加者による交流イベント「ラート体験会」を実施することになっていただけに、中止はとても残念でした。

本団では、来年度の県交流大会及び東北交流大会の開催に向けて、引き続き田沢湖スポーツセンターと連携しながら準備を進めて参ります。



熱戦が繰り広げられた第1回県スポ少ミニバス交流大会

第44回秋田県スポーツ少年団(競技別)交流大会



秋田県スポーツ少年団(競技別)交流大会の下記競技は、新型コロナウイルスの感染リスクなどを考慮し、中止となりました。

- 軟式野球
8月10日～14日(さきがけ八橋球場)
- 参加数 16団 334名
- 優勝 大住野球クラブ

- サッカー 6月12日～13日
- バレーボール 7月31日～8月1日
- 柔道 9月26日
- ラグビー 9月25日～26日
- 卓球 1月8日
- スキー(アルペン) 2月5日～6日
- スキー(ジャンプ) 2月12日
- スキークロスカントリー 2月19日～20日

第43回全国スポーツ少年団軟式野球交流会 東北ブロック代表決定大会

- 期 日 7月10日(土)
- 会 場 由利本荘市水林球場
- 参加数 4団 75名
- 優 勝 相馬ドリームキッズスポーツ少年団(青森県)

秋田県からは、鷹巣JBCスポーツ少年団と新山グリッターズ野球スポーツ少年団が出場しました。



オフィス環境のトータル・サポーター



株式会社 **アシスト**

- 〒010-0063 秋田市牛島西一丁目5番1号
- TEL: 018-884-7600 FAX: 018-836-6088
- E-mail: info@assist-one.co.jp

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| ■ オフィス通販『アスクール』正規取扱店 | ■ 防災・災害用品資機材 |
| ■ 事務用品・事務用機器・OA機器・オフィス家具 | ■ OAフロア、可動間仕切、造作家具 |
| ■ オフィスデザイン・プランニング設計 | ■ インテリア製品及び内装工事設計施工 |

第59回全国スポーツ少年大会

- 期 日 9月19日(日)～20日(月)
- 会 場 東京都(オンライン)
- 参加者 三政千穂美、小松原 光、横井 心
三政晴哉、小畑 舵(大館市・SNOWスポ少)

※第59回全国スポーツ少年大会は新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、参加団員および関係者の感染拡大防止ならびに安全を考慮し、オンラインでの開催となりました。

参加者の感想

三 政 千 穂 美

今回のスポーツ少年団全国大会に参加してみて、オンラインでの交流で少し戸惑う部分や大変なことがあった中でも、自分たちが秋田の代表であるという自覚をもって多くの県の子供たちと交流できたことが貴重であると改めて思った。人と交流する上で何が距離を縮めるか考えた時、1つの課題に向かって互いの意見を出し合い、話すことが一つの方法であると思った。今回はオリンピックと関連して「輪・話・和・環・WA!」の言葉の意味について話し合った。

また、障がい者の選手の方から実際に話しを聞き、自分たちのスポーツや勉強にも繋がるような事も多く学んだ。その一つとして、「挫折は、何もしないで起こることではなく、頑張ってきた中で生まれる」ということです。その言葉を聞いて私は、今まで多くの悔しい思いをしてきて、行動してきた事に対して後悔していることがあった。しかし改めて考えてみると、失敗や挫折は、一種の成長であると感じた。それから私は、スポーツや勉強に取り組む際の気持ちが変わった。前回の失敗を乗り越えたことをかてにするようになった。前回の自分がいたから、今回の自分が良いと思えるようになっていくと考えるようになった。

本当のことを言うと私は今大会の参加にあまり乗り気ではなかった。しかし、こんなにも多くのことを学べるとは思わなかった。オリンピックやパラリンピックについてという話から、様々なことを知り、自分のものにするのができた。コロナウイルスにより、東京に行くことはできませんでしたが、私たち団員が楽しめるように案を考え、指導して下さった運営関係者の方たちには本当に感謝したい。他のリーダー会を見る勉強にもなった。これからも、たくさんの人と意見を話したりと交流を深める会は続いて欲しいし、できる限り私も協力していきたい。

小松原 光

私は、今回初めて全国大会に参加しました。新型コロナウイルスの影響でオンラインでの開催になり、不安や心配の気持ちでいっぱいでしたが、そんな気持ちを消しきるくらい充実した時間を過ごすことができました。

1日目の障害者スポーツ研修キャラバン事業では、「勝利ではなく成功が大事である。」ということを学びました。勝利は結果である。2位や3位を目標にして挑んだとしたら1位でなくてもそれは成功であり、1位を取ることよりも重要であることが分かりました。私もスポーツだけでなくすべてのことで、「勝利の向こうには成功がある」ということを胸に取り組みたいと思いました。

今回の交歓交流活動では、けん玉大会やご当地自慢など、対面していなくてもできるレクリエーションで楽しむことができました。

普段私はレクリエーションで目的や場所、時間などを気にしながら考えています。しかし、対面しない、またリモートでやるというのは初めてのことで戸惑いもあったと思います。

ですが、どの内容も楽しめる内容でとても参考になりました。ZOOMのチャットを利用してオリパラのクイズをするアイデアは、とてもよく考えられているなと思いました。

リモートで参加してみて、普段は簡単に参加できなくても、リモートだと気軽に色々な場所の人とつながれるすばらしさがあるということに気付くことができました。

対面で活動することは大切だし、1番良い方法であると思いますが、全国の人、世界中の人とつながれる現代もすばらしいと感じました。今回の大会でたくさん大切なことが学べて良い経験になりました。ありがとうございました。

横 井 心

今回は、初めて参加してみて、とても多くのことを勉強することができました。

障害者スポーツ研修キャラバンでは花岡さんのお話を聞いて、スポーツは勝つことだけが全てではなく自分の納得する結果を出すために、努力をし続けることが大切だと学びました。スポーツをすることで違いを超えて多くの人とつながれるのはすごいと思いました。

オリ・パラ学習では、普段は見ることができないような観客席の裏側やオリンピック・パラリンピックに関する内容を詳しく聞いて、とても勉強になりました。

グループディスカッションでは、リモートでは交流が難しいかと思っていましたが、質問をしたり、地域の自慢のものを紹介し合ったりして仲良くなり、五つの輪について話し合うことができました。

今回の全国スポーツ少年大会では多くのことを学べましたが、実際に会うことができなくて少し残念だったので、次は全国のみなさんと実際に会って交流したいです。

三 政 晴 哉

今回の全国スポーツ少年大会に参加して沢山学ぶことができました。

まずは障害者スポーツ研修キャラバン事業で車いすマラソンパラリンピアンの花岡伸和さんのお話を聞いて少し鼓舞されることがありました。次に交歓交流活動の中でやっぱりけん玉が楽しかったです。団体戦と個人戦の2つがあつてどちらもあまり良い結果がでなかったけど久しぶりにやっても楽しかったです。そしてグループワーク・ディスカッションと言うのもやりました。内容は五つの輪の「輪・話・和・環・WA!」について自分もつ意見をそれぞれグループになって話しあいました。少し内容が難しかったけどグループの人達の意見を聞いて自分と異なる考えが沢山あり新しい発見がありました。

最後の今回の全国スポーツ少年大会に参加して新しい発見、物の見方、知識を得ることができました。今後この知識を活かしながら生活していきたいです。

小 畑 舵

今回のスポーツ少年大会をしてみて、オンラインでの開催でしたが、その51人の参加者の1人としてこんな体験ができるなんて思っていませんでした。

新型コロナウイルスのせいで東京に行くはずだったのにオンラインだったのでびっくりしました。

けれども、いろんな県から集まって、動画をみたり班で話しあったりしたので、これもありがたかったです。1番の思い出はけん玉大会です。初めてけん玉をやるので最初はできなかったけれど少しできるようになってよかったです。1分間のけん玉対決で14回しかできなかったのでもよかったけどみんなでもやれて楽しかったです。またできればいいなと思いました。

オンラインだけみんな伝えたいことを話していたので自分も伝えられるだけ伝えようと思いました。次のスポーツ少年大会も参加できたらがんばりたいと思いました。



令和3年度スタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会

- 期日 7月17日(土) ● 会場 秋田市文化会館 ● 参加数 47名
- 期日 11月1日(月)～2月19日(土) ● 会場 リモート ● 参加数 877名

新しいスポ少指導者資格を得るための「スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会」が、今年度から本格実施されました。

前期(7月)には、集合講習を秋田市文化会館で1回行い47名が受講しましたが、デルタ株の感染拡大により県の感染警戒レベルが上がったため、後期の集合講習は全て中止となりました。

そこで、後期(11月～)の講習は、日本スポーツ協会が配信する「eラーニングシステム」により自宅等で受講する「オンライン講習」に切り替えて実施しました。

オンライン講習では、877名が「講義」「検定試験」「グループワーク」を受講しました。



第63回指導者等再研修会・県指導者等研究協議会 (兼秋田市スポーツ少年団ブロック研修会)

- 期日 1月9日(日) ● 会場 秋田県生涯学習センター
- 参加数 主会場 43名 サテライト会場(5カ所) 83名 計126名

コロナ禍により昨年度は中止となった本事業は2年ぶりの開催である。初めて主会場(県生涯学習センター)とオンラインによるサテライト会場を設定し合計126名の参加を得て行われた。

帝京大学教育学部教育文化学科教授の高田彬成氏より「学校体育と地域におけるジュニアスポーツの在り方」と題して講演を行った。文部科学省の体力・運動能力調査の結果を丁寧に分析した結果、幼児期から楽しんで体を動かす経験を重ねることが児童生徒の発育・発達に非常に良い効果があり、生涯に渡る健康にも影響を及ぼす等の紹介があった。そのため、指導者や家族など周囲の大人が適切な環境を整え、子どもが運動好きになるような工夫が求められると指導があった。

講演後の質疑応答では、現地会場及びサテライト会場からも積極的な発言があり、オンラインでも研修効果は十分にあることが実証でき、今後の新しい方向性が見いだせた開催方式となった。



第62回指導者等再研修会(県南会場)

- 期日 12月18日(土) ● 会場 大仙市 大綱交流館
- 参加数 主会場 63名 オンライン 26名 計89名

アテネ五輪 4x400mリレー選手、大仙市出身(東京都在住)の伊藤友広氏に講師を依頼し、「スポーツの価値と可能性の再考」というタイトルでオンライン講演をしていただいた。今回は、会場の定員を制限し、希望者は自宅等でも受講できる形を取った。

走りを通じ、子供向け・企業向けに様々な事業を展開している伊藤氏。講演は、大変わかりやすく親しみのある語り口で、画面を通じてでも、その内容に引き込まれ、あっという間の時間であった。

自身の子供時代からのスポーツの経験とその時々感情、成功と挫折の瞬間等、プロアスリート本人からの貴重な話と映像は、とても興味深かった。

印象に残ったのが、伊藤氏は子供の頃は野球少年で、しかも一番上手な選手でもなかった。走りに目覚めたのはだいぶ後になってからのこと、という話。

自身の体験からも、「子供の頃は様々なスポーツにふれあい、まずは体を動かすことが楽しいと感じることが、後々の可能性を広げることにつながるのではないかと思う」とおっしゃっていたことが響いた。

受講者の皆さんにも、メモを取ったり、頷きながら聞く姿が見られ、講演終了後は資料の提供を希望される方も複数いらっしゃった。

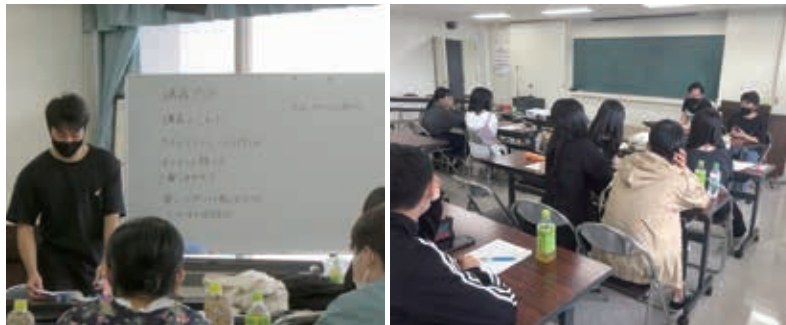
講師の伊藤氏に講演で使用した全資料を提供して頂き、今回は受講者に限らず市内の全単位団に配布することとした。



秋田県スポーツ少年団リーダー会

- 秋田県スポーツ少年団リーダー会総会
- 期 日 6月20日(日)
- 会 場 秋田県スポーツ科学センター
- 参加者 14名

コロナ禍で例年より開催時期が遅くなり、参加者も県内在住者限定となった。昨年度はほとんどの事業が中止となり今年度も見通せない状況であったが、役員改選では矢部太陽君が会長に選出され事業計画案など協議された。メイン事業のジュニアリーダースクールについては、例年並みの開催が難しいので多様な場合を想定したプログラムについて意見が出された。



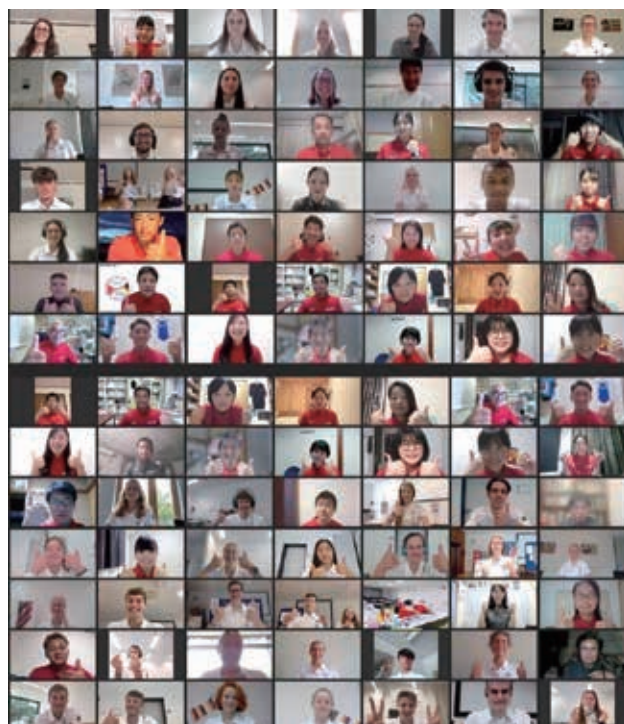
- 全国スポーツ少年団リーダー連絡会
- 期 日 6月12日(土)～13日(日)
- オンライン
- 参加者 金澤 賢侑(鷹巣スキーレーシング)
- シニアリーダースクール
- 期 日 8月17日(火)～20日(金)
- オンライン
- 参加者 佐々木 ほのか、木谷 日奈柊、佐藤 真桜、飯尾 月葉 (にかほ市リーダー会)

2020年日独スポーツ少年団ユースキャンプ (2021年実施)

- 期 日 8月2日(月)～5日(木)
- オンライン
- 参加者 船山 友菜 (湯沢市リーダー会)

私は、東京オリンピック・パラリンピック開催に伴い行われた日独スポーツ交流ユースキャンプに参加しました。今回の交流では、テーマ「共に未来を形成する：スポーツの持続性～新しいスポーツの価値～」をもとに学びました。主に、「インテグリティ」・「オリンピック・パラリンピック大会」・「日独の関係」という3つの視点から考えました。オリンピックに出場したドイツの選手、大会組織委員会の方、自然を守るための国際的な組織の方のお話を聞くこともできました。実際に大会や活動に参加している方のお話を聞くことで、専門的な視点から見た現状や私たちの知らなかったことを学びました。また、日本団とドイツ団のグループディスカッションでは、ドイツ団員のSDGsを達成するための、より実用重視な考え方や日本団員同士の地域性のある考え方に触れることで、それまでの自分になかった視点に気づかされたり、自分にできることの幅を広げたりすることができました。全体の活動を通して、より良い世界を目指して各国が共通の課題を解決するために動いていることを実感しました。どんなに些細なことでも、ひとりひとりの取り組みが合わさることで、よりよい世界に大きく前進できると思います。

だからこそ、自分自身が普段の生活から様々なことに取り組み、世界を良くする活動に貢献していきたいと思えます。



私たちの団

各団の一行目は団名(市町村)、種目、団員数(学年)、活動場所、代表指導者

第五ドリームズスポーツ少年団(能代市) ミニバスケットボール25名(小2~小6) 第五小学校体育館 野村 佐月
能代市立第五小学校 6年 工藤 心優

第五ドリームズは、長く指導者として頑張っている野村コーチのもと25名でバスケットを楽しんでいます。毎年6年生も3月までびっしり練習にはげみます。

全県大会に出場する事を目標に厳しい練習を頑張ってきました。

毎日の練習で走りこんでいるので学校行事のマラソン大会ではみんな上位に入ることが出来ます。

熱心に指導してくれるコーチ、サポートしてくれる家族に感謝して、これからもいい結果を残せる様に、練習を頑張ります。



東成瀬スポーツ少年団(東成瀬村) 卓球10名(小1~小5) 東成瀬村民体育館 岩野 祐之
東成瀬小学校 5年 半田 弥夕

東成瀬スポーツ少年団の卓球は、令和4年でそう立2年をむかえる新しいスポーツ少年団です。練習は、週に3回で小学校1年生から5年生で10人が所属しています。ふだんの練習からあいさつをする・団体行動をする・道具を大切にすることを守っています。団体戦で勝つことを目標に練習していますが、コロナのためなかなか試合がありません。ですが、コーチたちが練習試合の機会をつくってくれ、日々練習にはげんでいます。



牛島卓球スポーツ少年団(秋田市) 卓球6名(小4~小6) 牛島小学校体育館 阿部 文雄
牛島小学校 5年 米谷 有生

牛島卓球スポーツ少年団は、部員数が少ないですが、その分チームワーク抜群に楽しく元気に活動しています。日々の練習のご褒美に夏休みと冬休みにお楽しみ会があります。とくに部員みんなが楽しみにしているのが、冬休みに行われるみかんの日です。卓球台の上にペットボトルを置き、球をぶつけてペットボトルを台から落とすことができると、みかんやお菓子をゲットできるという楽しいイベントです。みんなとても真剣にペットボトルを狙います。今年のみかんの日もすごく盛り上がりました。コロナで試合の中止や練習ができないこともありますが、一回一回の練習を大切に、部員みんなと一生懸命に活動したいと思います。



Tombow

最後まで、驚くほど軽く引ける

テープのり新基準 独自機構「エアータッチシステム」搭載

エアータッチシステム

新開発
パワーネット
テープ

静音設計

エア
フィット
ヘッド



PIT エア

テープのり ビットエア- 400円+消費税



オリジナルギフトや
記念品に!

【テープのり】ビットエア-



別注・お名入れ対応も可能です。

お見積り・ご注文は、お近くの文具取扱い店舗へお問合せをお願いします。

インクジェット
印刷対応

小ロットに
最適

株式会社トンボ鉛筆
<https://www.tombow.com>

夢を支える応援団

スポーツ少年団を支える指導者・育成母集団の声

おらほのスポ少陸上活動

藤里クラブスポーツ少年団

指導者 淡路 幸広

藤里町の藤里小学校と藤里中学校は令和5年度より、小中一貫校「藤里学園」として生まれ変わります。

それに合わせた形で陸上部門は、令和3年度より小中合同のスポ少として活動を開始しました。小学2年生から中学3年生という幅広い年代が所属している陸上部門では、体格差・体力差があるため、それぞれにあった練習メニューを行います。親の会の皆様のサポートの元、日々鍛錬を重ねています。

団員たちは挨拶、礼儀、マナーを徹底し、小中の隔てなく仲良く頑張っています。上級生は下級生に教えることによって、上級生の意識の向上につながり、下級生は上級生の姿をみながら練習するなど、団員の成長する姿が見られます。

小学生、中学生ともに全県入賞を目指して、各々が日々一生懸命に練習に励んでいます。団員たちの頑張りをしっかりとバックアップできる様に指導者と親の会が一丸となっておらほの陸上少年、少女を応援していきたいと思えます。

ガンバルど〜！おー！



いい選手に向かって

井川スポーツ少年団

指導者 鷲谷 康之

当団も少子化の波には勝てず、ミニバスとしてはギリギリの人数で新人戦に向けて頑張っています。

選手のあるべき姿は「いい選手である前にいい生徒であれ いい生徒はいい選手になる」で、礼儀・あいさつはもちろん、外靴やバックの並べ方などバスケット以前のことに厳しくしています。

2年生からの団員ですが、自ら考えてプレーできる選手になってくれればと思っています。特に最上級生には主体と絆を意識してもらうよう日替わりリーダー制を取り入れたり、団員には各メニューの前に考える時間を作ったり、こちらから質問したりと、考えることを大事にしています。時には鬼ごっこやサッカーなどバスケット以外のこともしますが、この時も与えるのは時間だけで、やり方は団員同士でしてもらいます。

幸い小学と中学が一緒の義務教育学校のため、スポ少と部活の切れ目がありません。バスケットが楽しくて次に続けていきたいと思ってもらえる団員がひとりでも多くなるよう団員と一緒に頑張っていきます。



目指せ世界の頂点!



がんばる
ジュニア
応援します



あらゆるニーズにお応えする

松原 松原印刷社

〒010-0951 秋田市山王七丁目5-29

TEL 018-862-8760(代)

FAX 018-863-0005

<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

E-mail:matsubara@matsubarainsatsu.co.jp

日本スポーツ少年団顕彰・秋田県スポーツ少年団表彰

日本スポーツ少年団より功績のあった登録指導者、市町村スポーツ少年団に贈られる賞で、令和2年度は2団体と、登録指導者7名、退任感謝状2名に伝達された。また、秋田県スポーツ少年団では、功労者11名、優秀指導者9名、優秀単位団6団体、優秀母集団3団体、退任参与感謝状2名を表彰した。

- 期 日 1月12日(水)
- 会 場 ANAクラウンプラザホテル秋田

令和2年度日本スポーツ少年団顕彰

◎市町村

鹿角市スポーツ少年団、男鹿市スポーツ少年団

◎指導者

田口 将(鹿角市)、大滝 朗(由利本荘市)、
高橋道雄(秋田市)、淀川幹夫(秋田市)、
保坂政美(秋田市)、大槻清治(大仙市)、
伊藤正幸(潟上市)

◎退任感謝状

鈴木久米雄(潟上市)、(故)梁田純一郎(仙北市)



令和2年度秋田県スポーツ少年団表彰

◎功労者

金丸 亮(秋田市)、豊島春己(秋田市)、
藤原正三(秋田市)、木村清隆(秋田市)、
松岡修蔵(能代市)、渡部 悟(横手市)、
高橋朝夫(大仙市)、茂木豊康(大仙市)、
杉澤 亨(大仙市)、川原 敏(大仙市)、
宇瀬隆広(潟上市)

◎優秀指導者

長谷川祐市(秋田市)、佐々木鍵二郎(秋田市)、
佐藤信彦(秋田市)、大塚賢太郎(能代市)、
武田和彦(大館市)、石場 透(潟上市)、
青木崇洋(にかほ市)、斉藤忠雄(八郎潟町)、
甲谷甚一(八郎潟町)

◎優秀単位団

明德サッカースポーツ少年団(秋田市)、
旭川バレーボールスポーツ少年団(秋田市)、
御所野野球スポーツ少年団(秋田市)、
きみまち柔道スポーツ少年団(能代市)、
増田町 jr ソフトテニススポーツ少年団(横手市)、
大曲レッドファイヤーズサッカースポーツ少年団(大仙市)

◎優秀母集団

岩見三内スポーツ少年団育成会(秋田市)、
河辺スポーツ少年団育成会(秋田市)、
向能代ファイターズスポーツ少年団親の会(能代市)

◎退任参与感謝状

直嶋康則
青山敏子

訃 報

秋田県スポーツ少年団常任顧問
蒔苗 昭三郎 氏 令和3年11月11日 ご逝去
永年にわたり、本県スポーツの発展、振興に寄与されました。
ご功績を称え、謹んでご冥福をお祈りいたします。

スポーツ安全保険

文化活動も
加入出来ます

対象となる事故 **団体活動中の事故 / 往復中の事故**

保 険 期 間 令和4年4月1日の午前0時から令和5年3月31日午後12時まで



公益財団法人 スポーツ安全協会 秋田県支部

TEL 018-883-0360 電話受付時間 午前8時30分～午後5時(土、日、祝日を除く。)

保険の詳しい内容、資料の請求は、ホームページをご覧ください。
ご加入はインターネットからのお手続きが便利です。
スマートフォンからもお手続きできます。

スポーツ安全保険

検索

※「スポーツ少年秋田」は、ホームページ (<http://www.akitaikyoo.or.jp>) でもご覧いただけます。